特集

内分泌疾患の常識チェック40問

めざせ黒帯!

企画 岩岡秀明 藤沼康樹

内分泌疾患は決して稀ではありませんが、医師が積極的に疑って検査をしないと見逃されてしまう疾患が多いのが特徴です。そして甲状腺機能低下症や慢性の副腎皮質機能低下症のように、長年正しい診断がされずにとても苦労された患者さんの話もよく聞きます。糖尿病や高血圧症、肥満や浮腫、多尿や月経異常など、ありふれた疾患や症候の陰に内分泌疾患が潜んでいるため、それを疑い正しい診断への道筋をつけられるかどうかによって、患者さんの予後、特に生活の質（QOL）が大きく左右されます。

またX線CT・MRI検査が普及している日本では、副腎や下垂体の偶発腫もしばしば発見されます。

内分泌疾患は「病歴と症状」「特徴的な身体所見」「一般検査所見」の組み合わせで診断していきますが、「よくある一般的な症状」にも、内分泌疾患が隠れている場合があります。

代表的な例として、低血圧、倦怠感、食欲不振などで内科を受診して消化器系疾患などの精査をしても原因不明な場合は、一度は血清コルチゾールと ACTHを同時に測定してみましょう。副腎皮質機能低下症が隠れているかもしれません。したがって、内分泌疾患の特徴を知り、診断や治療のポイントを身に付けることは、非専門の総合診療医にとってこそ重要であり、日々の診療が面白さを増して、充実感をもたらしてくれます。しかし内分泌疾患は、間脳・下垂体疾患から性線疾患まで非常に幅広い分野でもあり、かつ確定診断には各種負荷試験も必要で、総合診療医にとってはなかなか難しく敬遠されがちな領域でもあります。

そこで本特集は、総合診療医に必要な内分泌疾患の総まとめ的な内容を目指し、自身でその常識をチェックできるよう、まずは「実力テスト」にトライしていただき、その後各分野のエキスパートの先生方に各疾患および各検査についてわかりやすく解説していただく形式にしました（“7割正解なら黒帯”というレベルを目指します）。

本特集を読んで、ぜひ日常診療で、積極的に内分泌疾患を疑ったり、また見つけ出してください。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2025

2026/10/12 18:38:20

【出題者一覧】

富山敬子・福田いずみ（日本医科大学大学院医学研究科 内分泌代謝・腎臓内科学）
尾関良則・柴田洋孝（大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座）
高橋　裕（奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座）
中野靖浩・副島佳晃・大塚文男（岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学）
方波見卓行・月山秀一・常見真吾（聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 代謝・内分泌内科）
時永耕太郎（松戸市立総合医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科）
大月道夫（東京女子医科大学 内分泌内科学分野）
宮田　崇（名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）
岩岡秀明（鎗田病院 糖尿病・内分泌内科）
伴　俊明（いすみ医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科）
鈴木佐和子（千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）
小出尚史（千葉市立青葉病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）
荒田尚子（国立生育医療研究センター 女性総合診療センター 女性内科）
吉原　彩（昭和大学横浜市北部病院 内科）
鈴木敦詞（藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学）
浅見文邦・佐藤潤一郎・槙田紀子（東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科）
皆川真規（千葉県こども病院 内分泌科）
入江航生（東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科）
伊東伸朗（東京大学大学院医学系研究科 難治性骨疾患治療開発講座）
田中知明（千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学講座）
田辺晶代・内原正樹（国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科）
西村元伸（国立病院機構千葉東病院病院長 糖尿病・内分泌内科）
齋藤　淳（横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター）
片桐由起子（東邦大学医学部 産科婦人科学講座）
岩佐　武・野口拓樹（徳島大学大学院 産科婦人科学分野）
堀口和彦（群馬大学医学部附属病院 内分泌糖尿病内科）
山田正信（群馬大学大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学）
大野洋介・田中祐司（防衛医科大学校病院 総合臨床部）

本特集「Web解答用紙」公開中!

本特集をお読みいただきながら、パソコンやスマートフォンから解答を入力できる「Web解答用紙」をご用意いたしました。Web解答用紙の末尾にある「採点する」ボタンを押していただくと、自動で採点されるだけでなく、各領域の正答率も表示されるようになっております。ぜひ、ご活用ください!

Web解答用紙はこちらから
https://gene-navi.igaku-shoin.co.jp/articles/gm_web_3504

2026/10/12 18:38:20